

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	規定回数の訓練は行えているが、利用者が加齢に伴いスムーズに避難ができなくなっている。	職員各自が避難、誘導する術を身に付ける。 地域住民との協力体制を築く。	<ul style="list-style-type: none"> 職員各自が年2回は避難誘導訓練を行う。 実際に避難したことを想定し、持ち出し袋の内容を検討する。 地域住民(区長、民生委員等)に避難訓練に参加を呼び掛ける。 	12ヶ月
2	40	食事を楽しむように努力はしているが、利用者の力を生かした食事作りが出来たら、より良いのではないかな。	利用者が食事を食べる一方にらず、準備や食事作りを行う事で食事に楽しみを生み出す。	<ul style="list-style-type: none"> 献立作りに協力して頂く。 週に1回は利用者が食事を作る機会を確保し、習慣付ける。 	12ヶ月
3	49	高齢化が進むにつれ、行きたい所に行けない、やりたい事が出来なくなってくる。	個々に外出が継続できるようにADLの維持に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 毎日行っている軽体操への参加を促す。 個々に決められた機能訓練を行う。 定期的に散歩へ出かけ体を動かす。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。